

「IT融合人材育成連絡会」検討成果報告セミナー

5月20日 渋谷区大和田さくらホール

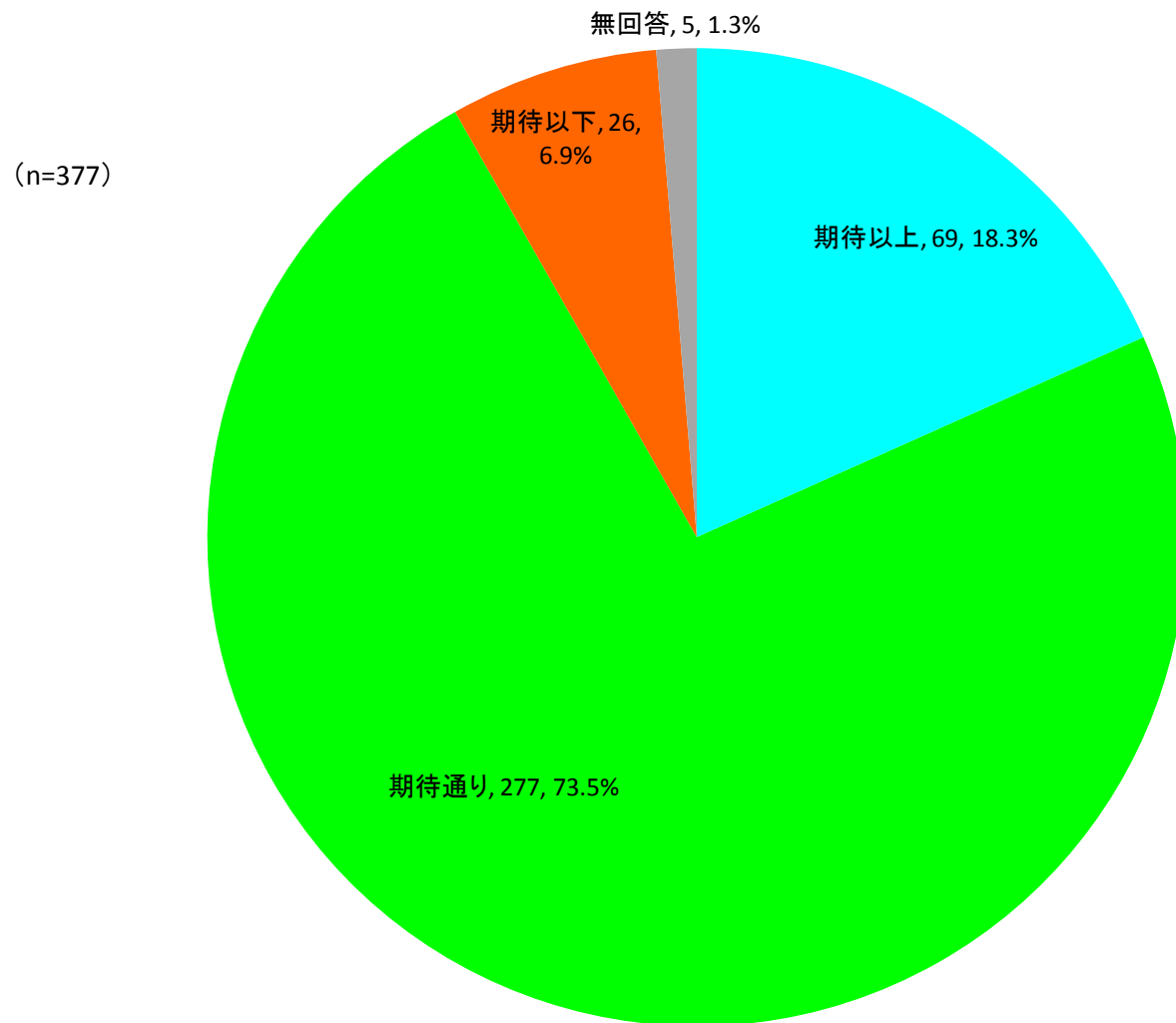
アンケート集計結果

申込件数: 698件

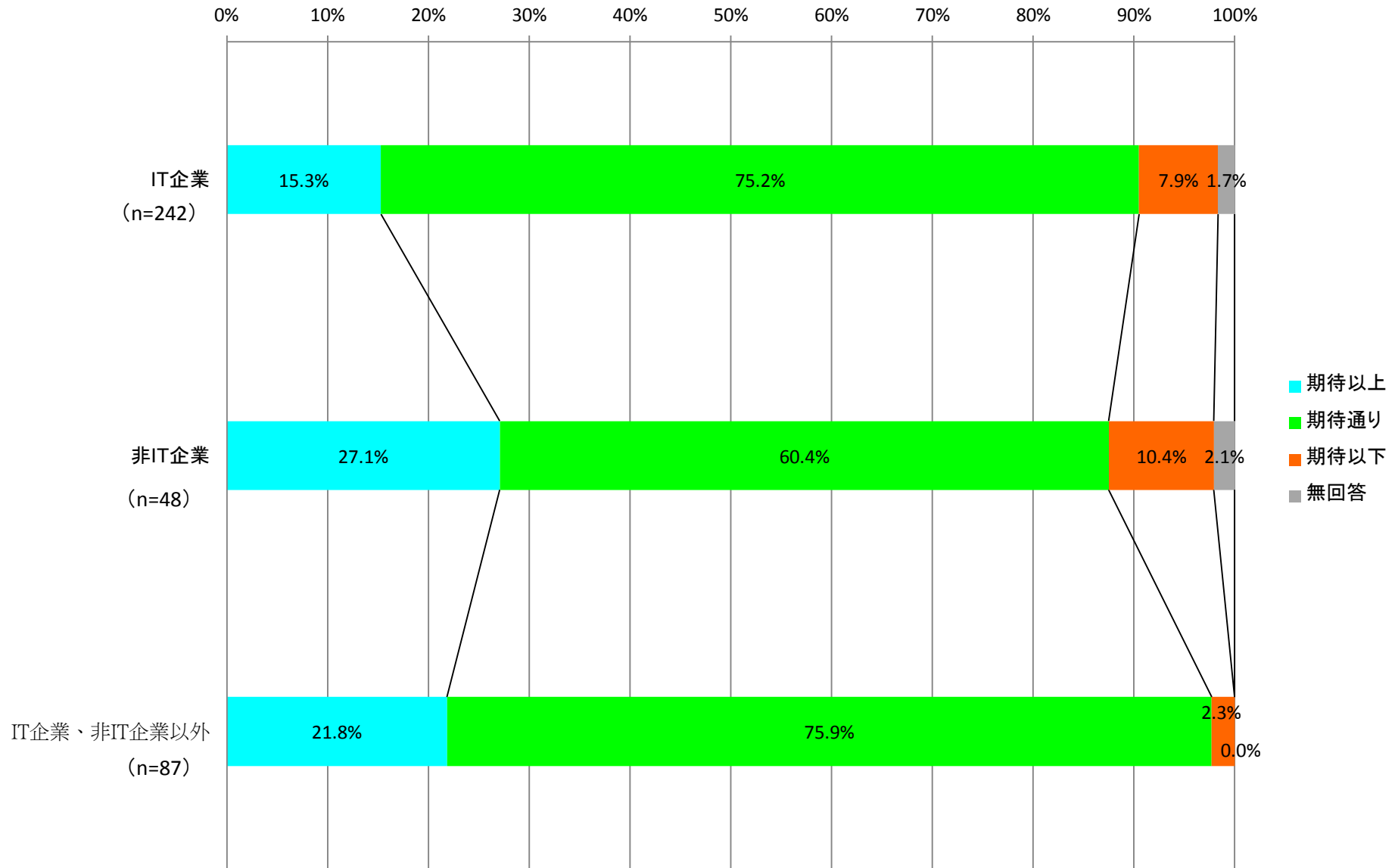
参加人数: 450名 (約64%)

アンケート回答数: 377件 (約84%)

セミナー内容について(全体)



セミナー内容について

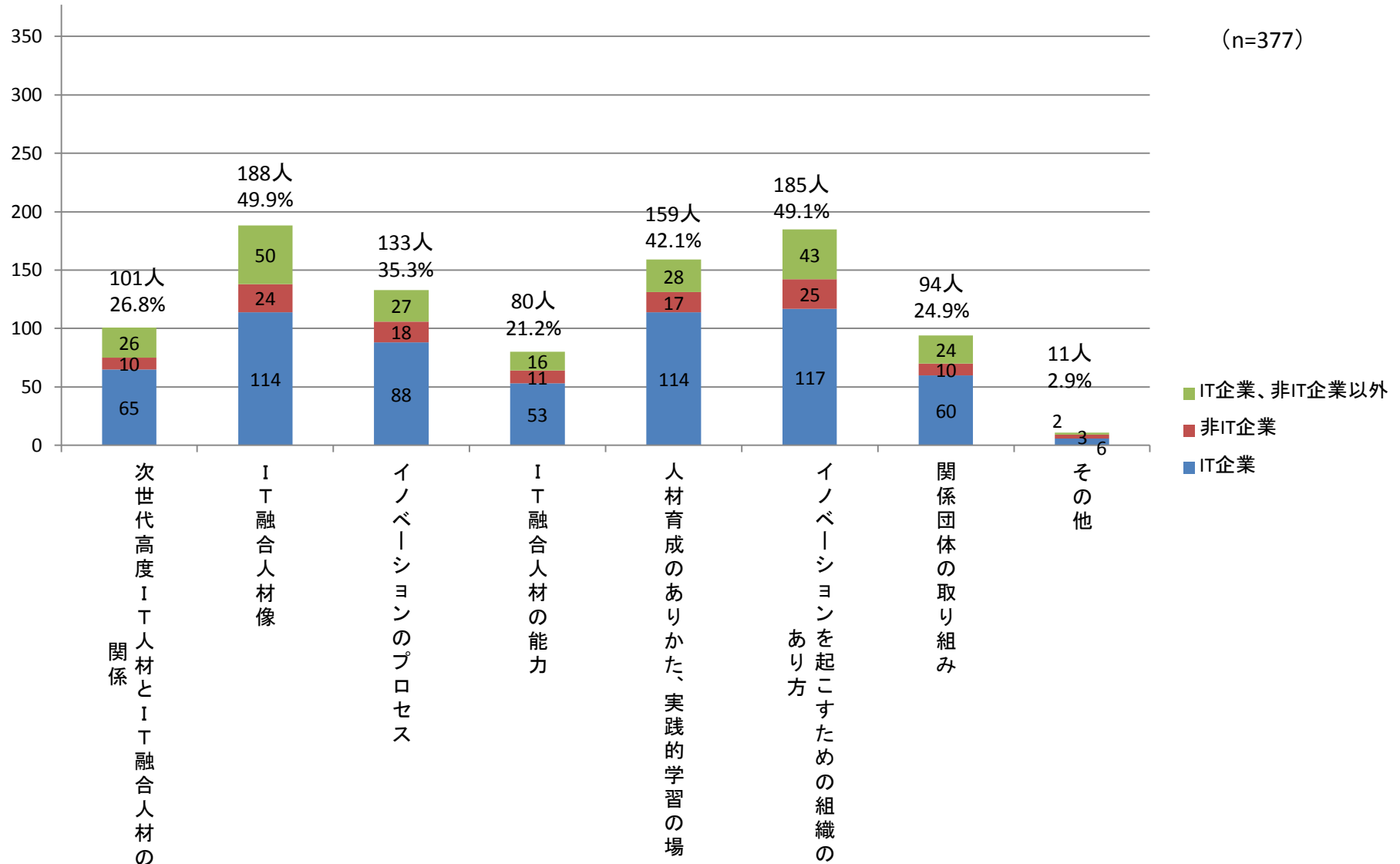


※「IT企業、非IT企業以外」には教育機関、業界団体、学会、官公庁等、その他組織、個人、無回答が含まれます

理解が深まった内容(複数回答可)

全体

(n=377)

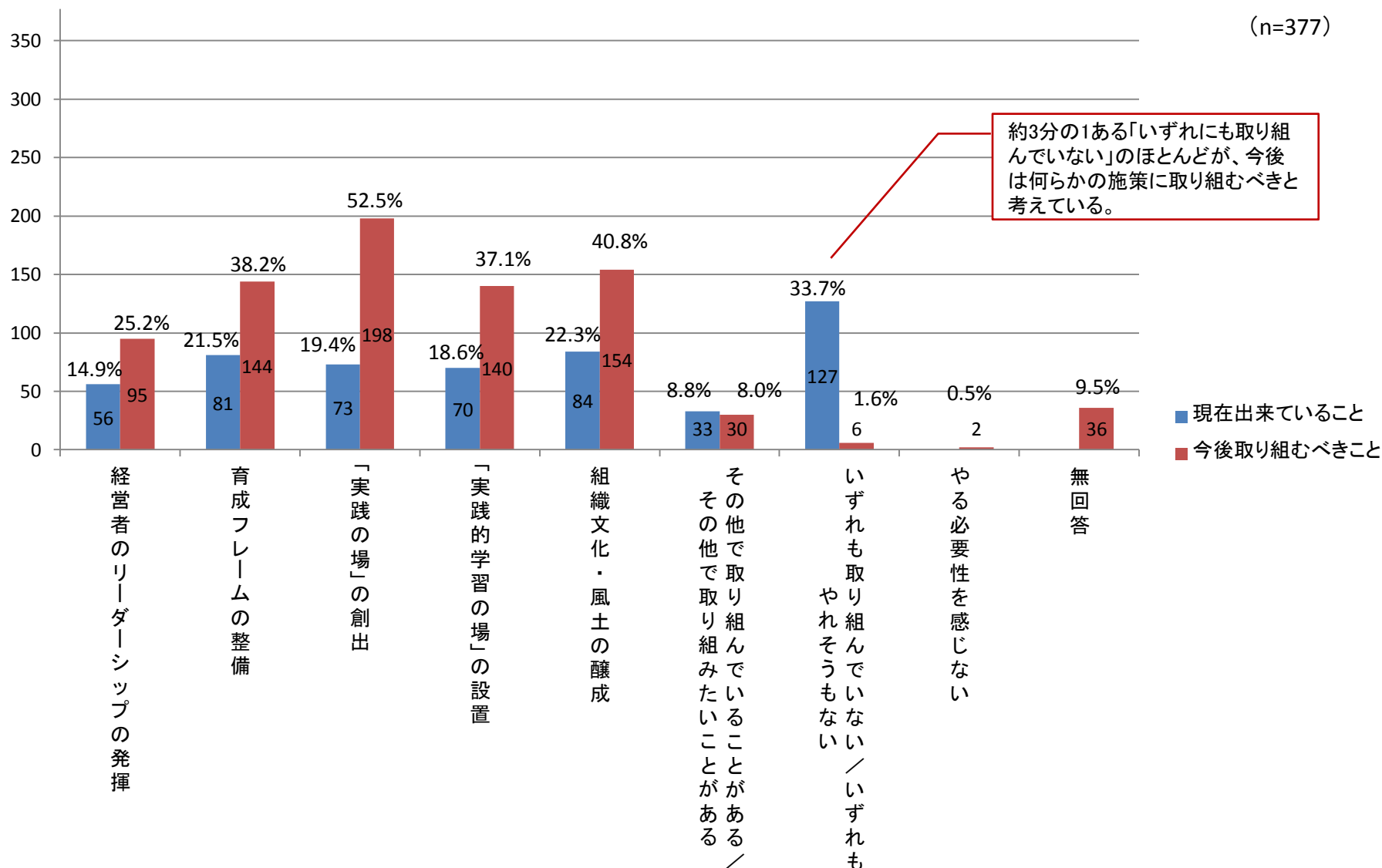


※「IT企業、非IT企業以外」には教育機関、業界団体、学会、官公庁等、その他組織、個人、無回答が含まれます

自分が属している組織におけるイノベーションへの取り組み(複数回答可)

全体

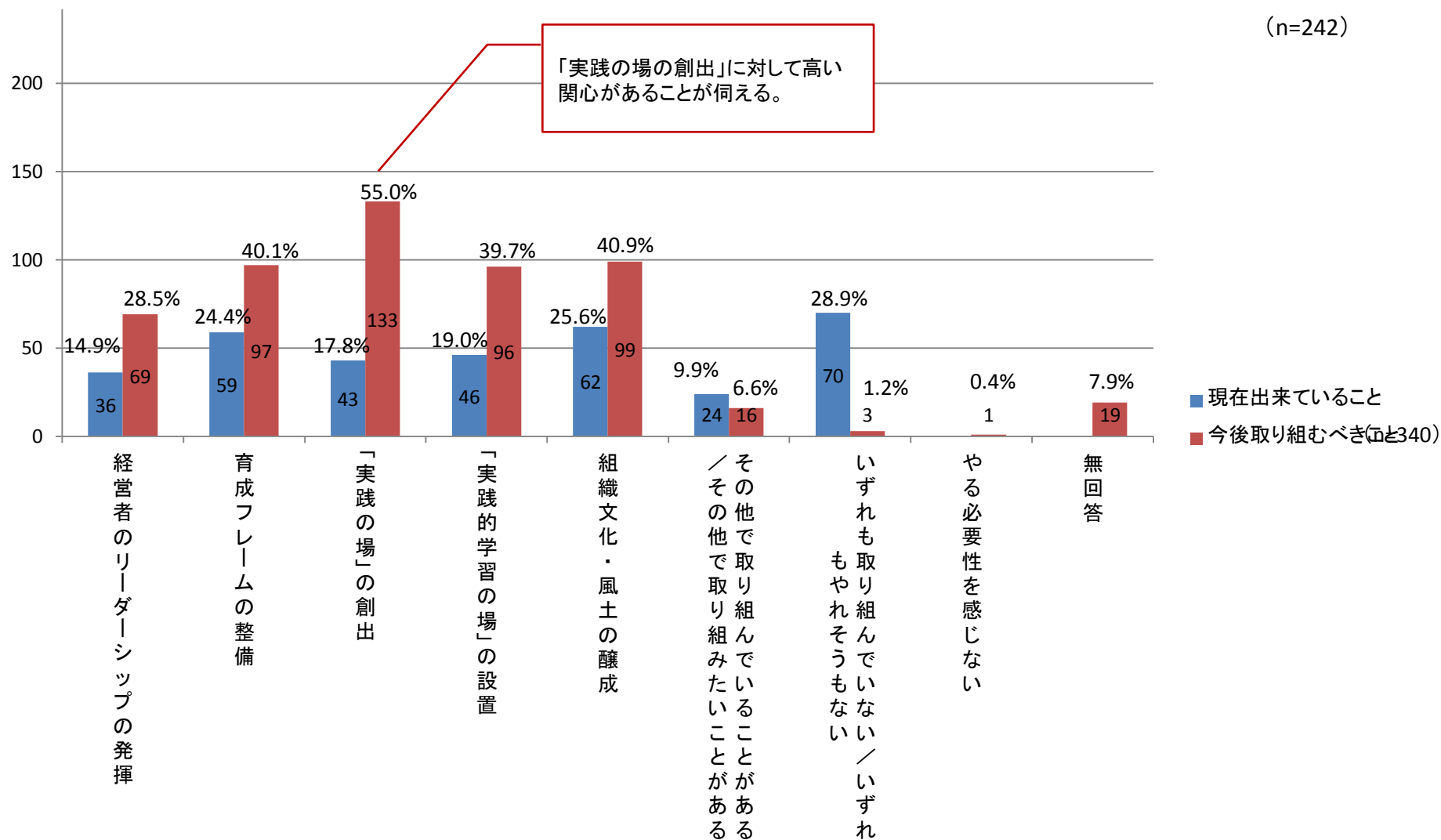
(n=377)



自分が属している組織におけるイノベーションへの取り組み(複数回答可)

IT企業

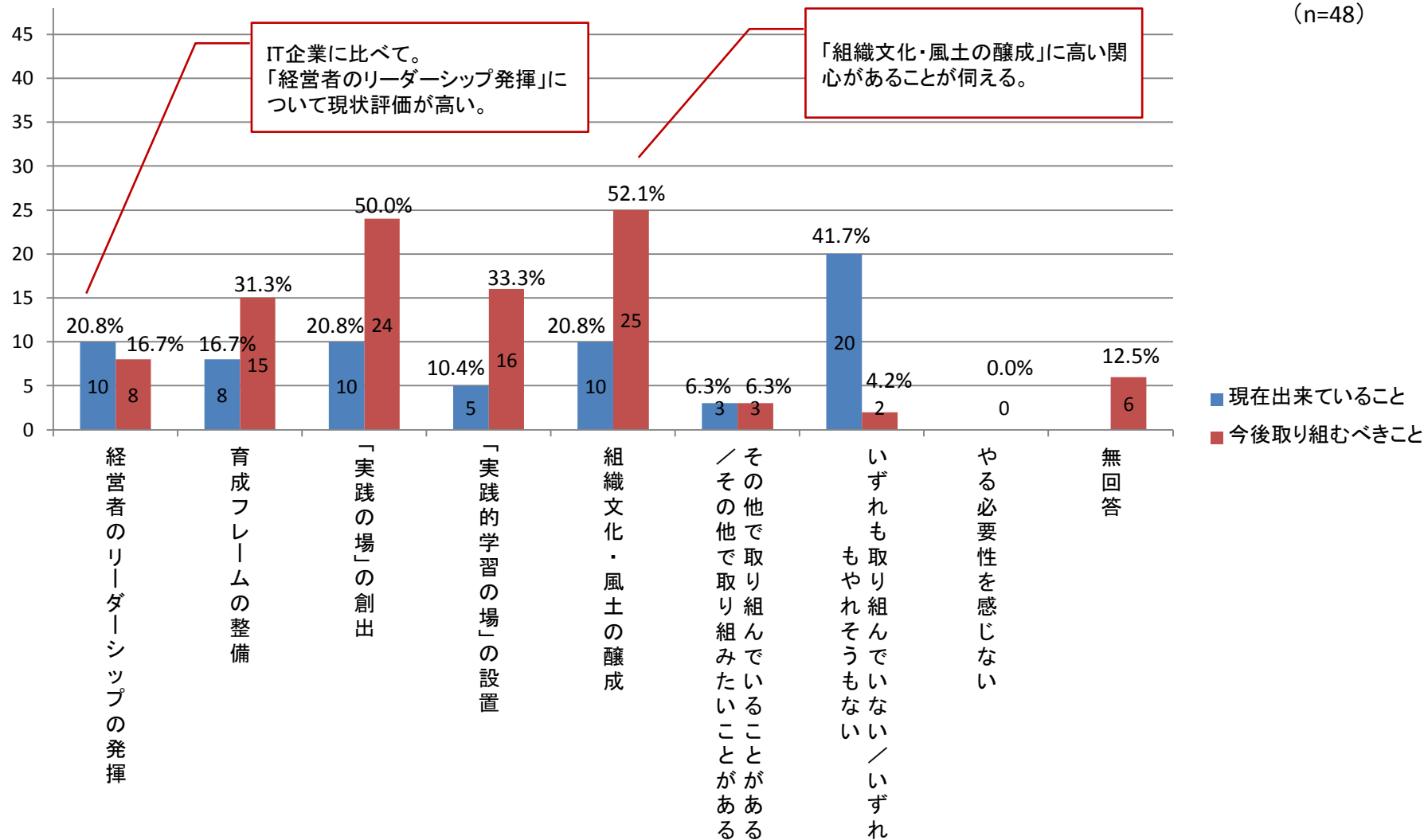
(n=242)



自分が属している組織におけるイノベーションへの取り組み(複数回答可)

非IT企業

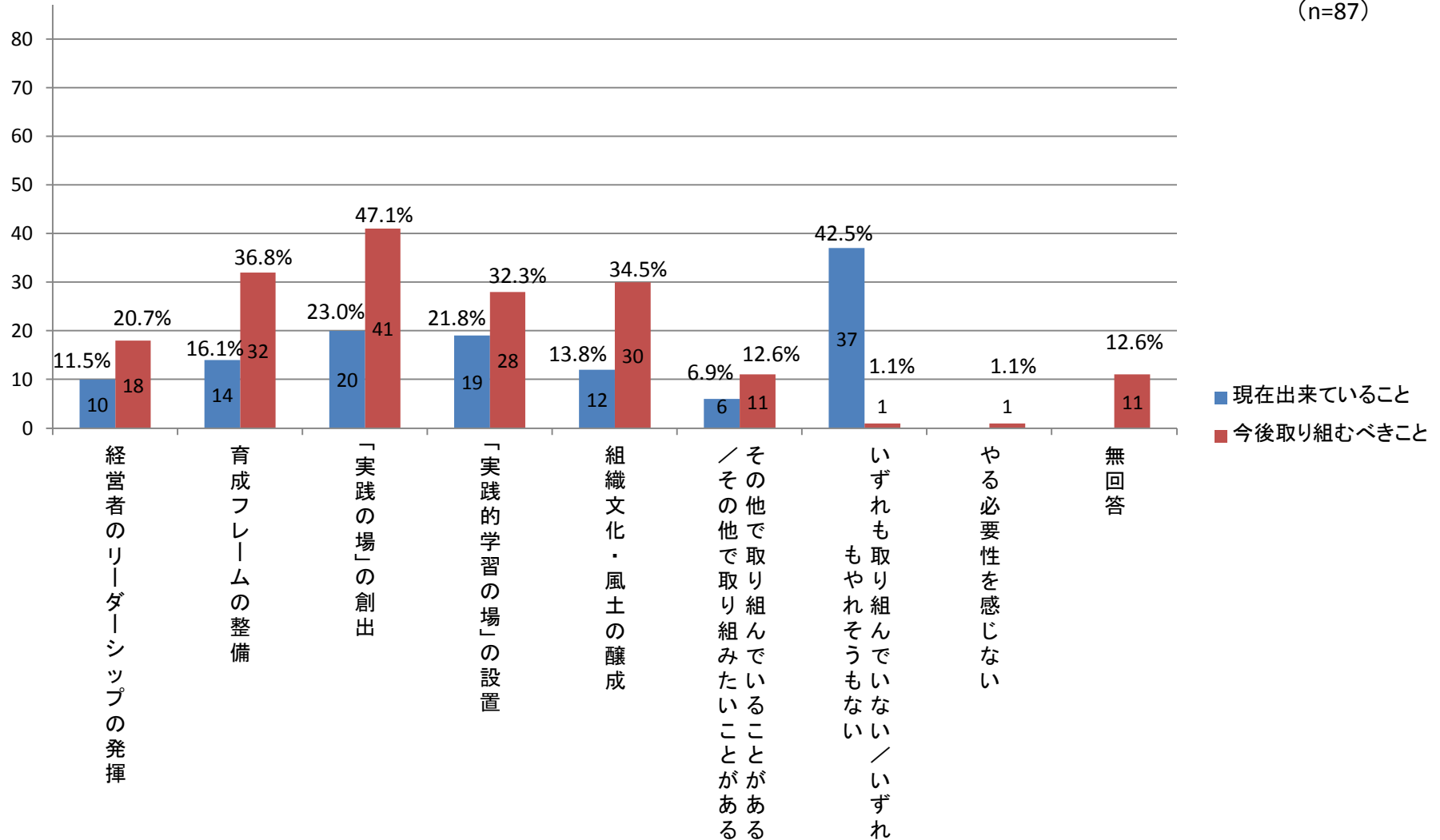
(n=48)



自分が属している組織におけるイノベーションへの取り組み(複数回答可)

IT企業、非IT企業以外

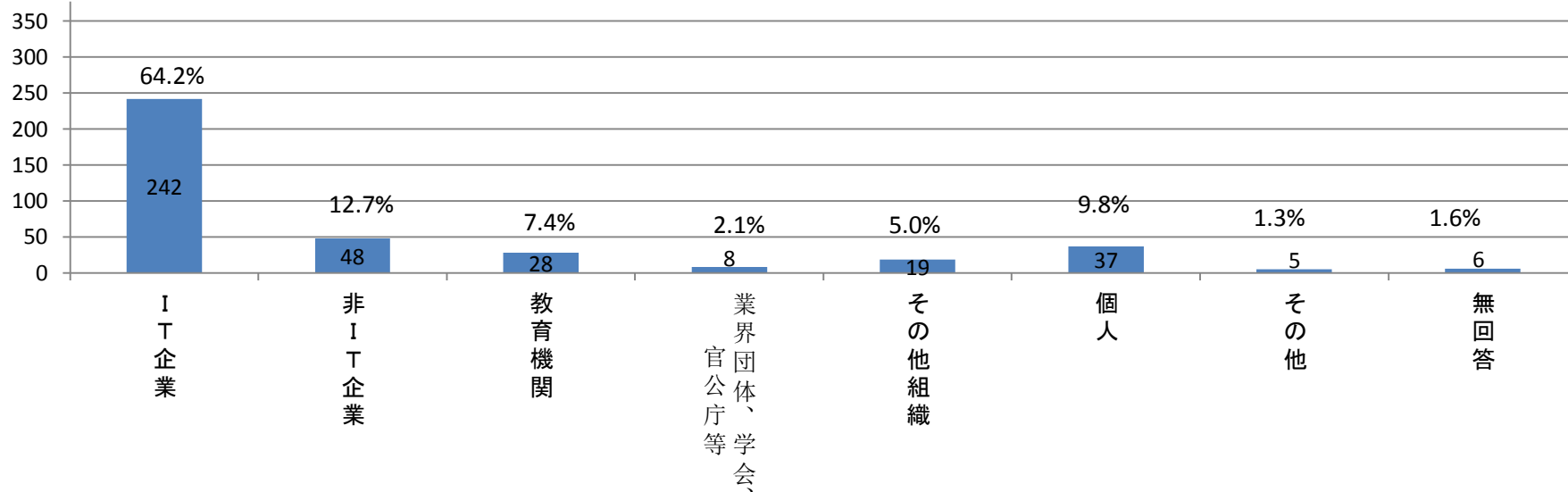
(n=87)



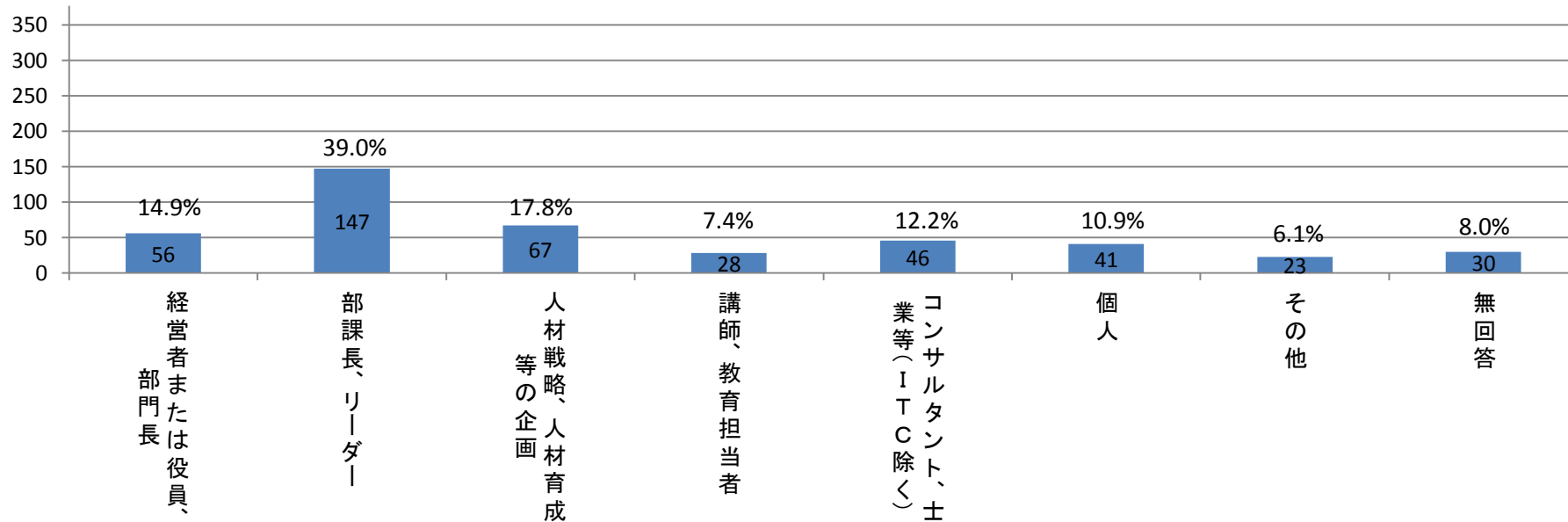
※「IT企業、非IT企業以外」には、教育機関、業界団体、学会、官公庁等、その他組織、個人、無回答が含まれます

所属組織(複数回答可)

(n=377)



(n=377)



コメント

セミナー内容について

(アンケートのコメントより抜粋)

- 自社でも、IT融合人材育成計画を策定するにあたり、有益な情報を得ることができた。
- プロデューサという視点で、市場活性化を目的とした活動であり共感点が多くありました。
- 場が重要であると再認識しました。
- 従来から「ビジネスとITの両方が判っている人材が欲しい」との思いがより明確にイメージできた。
- 5つのプロセスを利用してみます。
- 経営者の一人として心得るべきことを再認識させられた。
- IT経営の実践からIT融合によるイノベーションの実現へと企業が目指すべき方向性が変わった事を実感した。
- 実践の場のセミナー等に関する予定等の情報があるとよかった。IT融合人材というセミナーにですらい(説明が大変)なので、もっと分かりやすい名称が良い...
- ビジネスとITの融合、融合すればITは基本要素で大切なのはビジネスそのもの。仕方ないと思いますが、IT視点が強く残念でした。ITのことではあるが、IT視点ではなく、ITという用語なしで語られるなど、単純に人材育成に集約されることが本当の融合なのではないでしょうか。
- イノベーションのとらえ方が様々であったため、レベル感がよく分からない部分があった。

理解が深まった内容について

(アンケートのコメントより抜粋)

- 縦割組織なのでなかなか壁を越えた議論ができない。まずここを突破してファシリテーターとして貢献できるよう頑張っていきたい。
- イノベーションを起こすうえでの阻害要因をどのようにつぶすのかだが、「杭を打つ」から「アイデアを育む文化向上へ」がすごく印象に残りました。
- イノベーション、IT融合人材育成には、個だけでなく組織も重要であること！！が分かりました。
- 価値提供でのイノベーションの重要性を理解した。効果的にイノベーションを起こして成功させる為のフレームをもう少し整備してほしい。イノベーションプロセス、IPAでの資格(ITストラテジスト等)上流工程、REBOK、BABOK、ITCプロセスガイドライン、マインドセット、スキルセット、コンピテンシーなど
- 話の中で、2極化(ユーザー寄り、サービス提供寄り)し、SEはなくなるかもという話は共感できます。企業(非IT企業)は、社員に対してIT教育を提供し、完全に融合し一般化した人材育成に組み込まれている将来ができること、自らチャレンジすることを自覚しました。
- 「イノベーション人材は育成できる」という前提を置いた時点で重要な論点が落ちてしまった。(この部分の議論は避けて欲しくなかった)

イノベーションへの取り組みについて

(アンケートのコメントより抜粋)

- 価値創造プロセスを既存システム開発の上流工程として自社定義したい。
- 現在、外部研修等を利用して底上げに取り組んでいる。今後、個人能力評価の基準を整備していきたい。
- 会社をはなれたイベントやコミュニケーション活動をしている。今後「イノベーションの場づくり」をすることに注力したい。
- とても参考になりました。しかし、個人・チームで取り組むことは可能だとしても、企業として改善・改革することは困難ではないかと思いました。経営者のみならず、人事部署が主体的になること、IT部署が自ら取り組むこと、横断的なチャレンジが必要だと思います。
- 経営者がITに関してリーダーシップをとろうとしない中小企業の具体的施策に関する情報がほしい。
- 「実践の場」「実践的学習の場」は個人レベルではすでに多くあるので、組織が取り組む必要はない。組織が取り組むべきは「創出」ではなく「ビジネス化」(つぶさずに育てる)だと考える。